

危険が潜みやすい環境

皆さんの生活の中で、危険が潜みやすい環境はないでしょうか。一見、安全に見えても人通りや時間帯によって注意が必要な場合もあります。自分自身だけでなく、家族の目線でも確認してみましょう。



路上駐車

不用意な路上駐車は、周囲からの見通しをさえぎる場合や、車を利用した犯罪に利用される危険性があります。また、自身の車を路上駐車した場合、車上荒らしなどに狙われる場合もあります。

【注意点】

- 不審者が、車の陰に潜みやすい
- 不審な車の発見が難しくなる

空き地・廃墟

管理がされていない空き地や廃墟は、周囲からの目が届きにくく、不審者が身を隠しやすい環境です。

【注意点】

- 周囲に気付かれにくく、緊急事態を知らせることが困難
- 空き地や廃墟の敷地に車を潜ませ、連れ込まれる

高架下や地下道

高架下や地下道など、トンネル状の箇所は周囲から見えにくだけでなく、誰でも入りやすい場所のため注意が必要です。通行人が少ない場合や周囲に民家などがないと、より危険性が高い場所となります。

【注意点】

- 昼夜問わず、人の気配を感じにくい
- 通路や道路のため待ち伏せなどがしやすい

万が一の事態に直面した場合は、

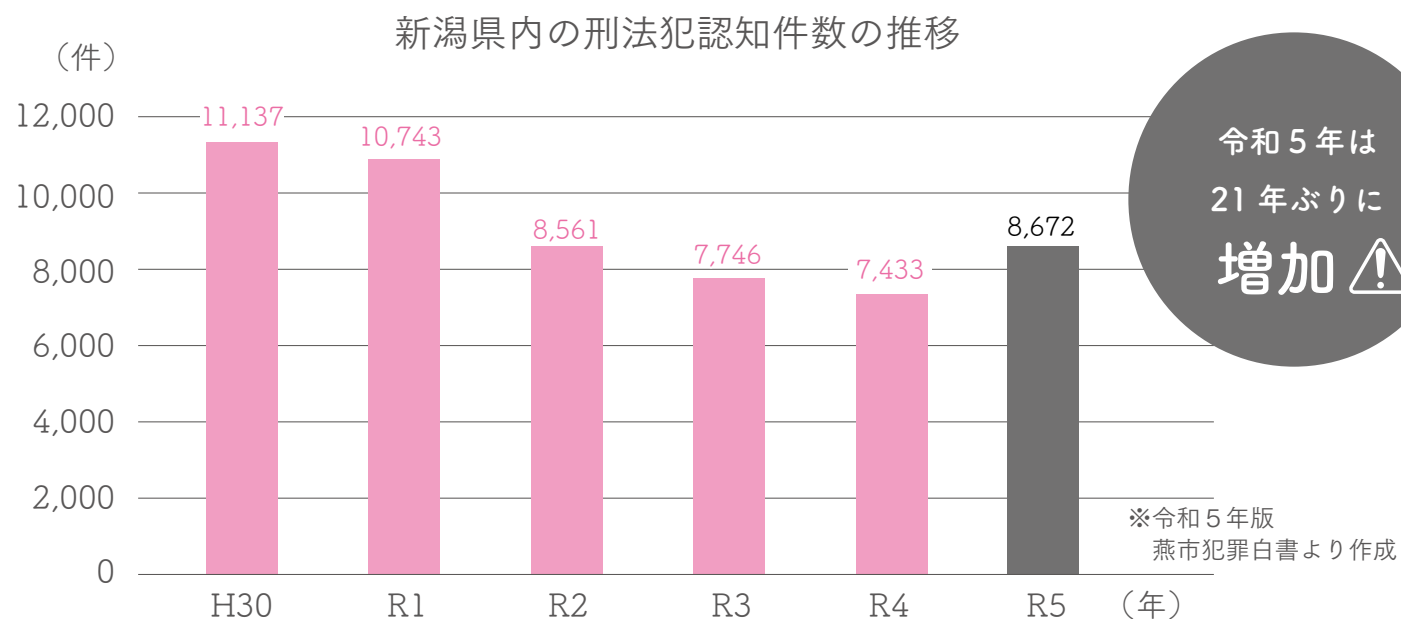
- とっさに大声を出す
 - 防犯ブザーを使用する
 - 動ける状況なら、まず距離をとる
- ことを心がけましょう。

特集

燕で安心して暮らすために

令和5年中、新潟県内での刑法犯認知件数は8,672件で、前年から1,239件増加しました。これまでは、平成14年の35,947件をピークに減少傾向を示していましたが、21年ぶりに増加に転じました。

新生活や新たな環境に慣れ始めた5月。「犯罪は他人事」と油断は禁物です。犯罪から家族や財産を守るため、一人ひとりが正しい防犯知識を持ち、被害を未然に防ぐことを心がけましょう。



topic

知っていますか？ 割れ窓理論

「割れ窓理論」とは、建物の窓ガラスが割られたまま放置されると、注意が行き届いていないサインとなり、やがて全ての窓ガラスが割られるという理論です。

この理論を地域に置き換えてみましょう。道路や公園などにゴミや落書きが放置されていると、犯罪者に「住民が暮らしている地域に関心がない」「犯罪しやすい場所」という印象を与え、治安の悪化を招く恐れがあります。

反対に、ゴミ拾いや破損した設備の修繕を行い、まちや道路が整備されていると、地域の目が行き届いていると認識され、犯罪を未然に防ぐことにつながります。「割れ窓理論」を理解し、応用していくことで、地域の中から犯罪が起きづらい環境をつくるのが大切です。



より安心して暮らせる地域に

新潟県燕警察署
地域課 分水分交番所長
五十嵐 康喜さん
いからし やすのぶ

市内の交番に勤務し、地域に根ざした警察活動にあたる五十嵐さんにお話を伺いました。

現在燕市では、警察機能の中心となる燕警察署のほか、交番と駐在所がそれぞれ3カ所設置されています。私が所属する交番や駐在所は、管轄する地域のパトロールや各住宅を回る巡回連絡などを通して、生活の中で変わったことや危険が隠れていないかなど、地域の皆さんの安全確保のための業務を行っています。

これからの時期、皆さんにお願いしたいことが2つあります。まずは、子どもたちの見守りです。新学期から1カ月が経ち、学校生活にも慣れてきてとても楽しい時期です。一方で、登下校中の寄り道や、友だちの家に遊びに出かける際に危険な目に遭うケースは少なくありません。子ども目線では、気付かないことも多く、「実は、危険な場所や場面に遭遇していた」ということもありえます。子どもたちの安全のためにも、保護者・地域が一体となった見守りにご協力をお願いします。



2つ目は、外出時の戸締まりです。気温や天候にも恵まれるこの時期は、ちよつとした畑仕事やお出かけ時に戸締まりを忘れる場合が多くあるようです。「少しくらい大丈夫だろう」と考えがちですが、犯罪者は見逃しません。少し離れた間に、玄関や車に置いてあった貴重品が盗まれるといったことがないように、日頃から注意をお願いします。

最後に、事故は人々が動く朝と夕方に、事件は人目の少ない夜間に多く発生します。「自分や家族は大丈夫」と油断せず、お困りごとがある場合は、お気軽にご相談ください。



▲登下校時の見守りの様子

地域の目で子どもたちを守る

水道町一丁目自治会
自治会長

早川 賛治さん
さんじ

これまで自治会や交通安全協会などの活動を通じ、積極的に子どもたちの見守り活動を行ってきた早川さんにお話を伺いました。

現在、月に1回ほど、夜間の地域パトロールを実施しています。子どもたちの通学路を中心に、実際に歩きながら危険な場所が潜んでいないか確認をしています。例えば、薄暗い神社やお寺の境内、民家の塀やガレージの影など、身近な地域の中でも、人目につかない場所は意外と多くあるんです。事前に危険な箇所を把握し、地域内で周知することで、これまで死角となっていた部分にも「地域の目」が届き、被害を未然に防ぐことにつながると考えています。

昨年、近隣の自治会と共同で、犯罪撲滅を目的とした「地域安全懇談会」を開催しました。講師には、地元小学校の校長先生や燕警察署員を招き、地

域防犯のあり方について考えました。このような会を開催する時は、できる限り、子どもたちや保護者、地域の皆さんを巻き込み、顔見知りになってもらうような心がけています。核家族世帯が増えた今、地域に知り合いがいることが、子・親どちらにとっても、いざという時の安心につながるものだと考えています。

これまでの取り組みもあってか、近所を散歩していると、子どもたちが元気よく挨拶をしてくれるようになりました。嬉しく感じると同時に、「何かあったからでは遅い」と、今できることを考えるようにしています。このような活動は、多くの皆さんの協力によって成り立っています。自分たちの生活する地域をもっと安全で暮らしやすくしていくために、今後も地域一丸となっていきたいです。



相談窓口

身の回りの些細な異変や不安ごとがあれば、お気軽にご相談ください。

- 燕警察署 地域課
☎ 0256・94・0110
- 燕市役所 生活環境課 交通安全・防犯係
☎ 0256・77・8162
- 公益社団法人 にいがた被害者支援センター
☎ 025・281・7870

topic

犯罪の中で最も多い
窃盗への対策

刑法犯被害の6～7割は窃盗の被害です。新潟県や燕市における、窃盗被害のうち、鍵をかけていなかった場合が非常に多くなっています。

窃盗被害を防ぐため、家や車、自転車には必ず鍵をかけるほか、窃盗に狙われやすい環境をつくらない対策を心がけましょう。

自転車の防犯対策

- 短時間でも必ず施錠
- 防犯登録は義務
- 動かないものとつなぐ
- ロックは2重に

車の防犯対策

- 短時間でも必ず施錠
- 鞆・貴重品は車内に置いたままにしない
- ドライブレコーダー・車内防犯ブザーの設置

家の防犯対策

- 短時間でも必ず施錠
- 防犯カメラの設置
- 補助錠やセンサーライトの設置
- 隣人や地域の住人とコミュニケーションを取る

